

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【公表番号】特表2016-506722(P2016-506722A)

【公表日】平成28年3月7日 (2016.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-014

【出願番号】特願2015-554120(P2015-554120)

【国際特許分類】

C 1 2 N 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/155 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/0784 (2010.01)

【F I】

C 1 2 N 7/04 Z N A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 K 39/155

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 5/0784

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月2日 (2016.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌の状態であると診断された個体に投与した場合における、そのような悪性腫瘍または癌の治療のための、生弱毒化麻疹ウイルス (MV) 株由来の感染性の麻疹ウイルス (MV)。

【請求項 2】

前記個体に対する生弱毒化MV株由来の感染性のMVの投与が、形質細胞様樹状細胞 (pDC) を活性化する、請求項 1 に記載の感染性MV。

【請求項 3】

侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌の状態であると診断された個体に投与した場合における、そのような悪性腫瘍または癌の治療のための、ウイルスアクセサリ-CTA ンパク質をコードする遺伝子がノックアウトされた生弱毒化MV (MV-deltaC) 由来の遺伝的に改変された感染性MVである、請求項 1 または 2 に記載の感染性MV。

【請求項 4】

前記侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌が、悪性中皮腫である、請求項 3 に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC。

【請求項 5】

前記悪性中皮腫が悪性胸膜中皮腫である、請求項 4 に記載の遺伝的に改変された感染性

MV-deltaC。

【請求項 6】

メラノーマまたは肺腺癌の状態であると診断された個体に投与された場合における、そのようなメラノーマまたは肺腺癌の治療のための、ウイルスアクセサリ-Cタンパク質をコードする遺伝子がノックアウトされた、生弱毒化MV株 (MV-deltaC) 由来の遺伝的に改変された感染性麻疹ウイルス (MV)。

【請求項 7】

悪性腫瘍または癌状態と診断された個体に投与された場合における、ウイルスアクセサリ-Cタンパク質をコードする機能的な遺伝子を含む生弱毒化MV株由来の感染性のMVに対して抵抗性である悪性腫瘍または癌細胞の治療のための、請求項 3 から 6 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC。

【請求項 8】

生弱毒化MV株がシュワルツ株またはモラテン (Moraten) 株である、請求項 3 から 7 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC。

【請求項 9】

前記MV-deltaCが、MV-deltaCに感染した悪性腫瘍または癌細胞においてアポトーシス活性を示す、請求項 3 から 8 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC

。

【請求項 10】

前記MV-deltaCが、MV-deltaCに感染した悪性腫瘍または癌細胞においてカスパーゼ-3の活性化を誘導する、請求項 3 から 9 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC。

【請求項 11】

前記MV-deltaCが、MV-deltaCに感染した悪性腫瘍または癌細胞における細胞膜の外層へのHsp70タンパク質の暴露を誘導する、請求項 3 から 10 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC。

【請求項 12】

MV-deltaCに感染した悪性腫瘍または癌細胞の表面へのカルレティキュリンの移行を誘導する、請求項 3 から 11 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC

。

【請求項 13】

MV-deltaCに感染した悪性腫瘍または癌細胞の細胞外の培地中のHMGB-1の解放を誘導する、請求項 3 から 12 のいずれか一項に記載の遺伝的に改変された感染性MV-deltaC。

【請求項 14】

以下の工程：

- 事前に個体から採取した悪性腫瘍または癌細胞をインビトロで生弱毒化麻疹ウイルス (MV) 株由来の感染性麻疹ウイルス (MV) に感染させて、細胞溶解物を生成するステップ；
 - 細胞溶解物と形質細胞様樹状細胞 (pDC) を接触させてワクチンのpDCを得るステップ；
 - ロードされたpDCを回収するステップ；
- を含む、悪性腫瘍または癌状態と診断された個体の悪性腫瘍または癌を治療するためのワクチンの形質細胞様樹状細胞 (pDC) を調製するための方法。

【請求項 15】

以下の工程：

- 事前に個体から採取した悪性腫瘍または癌細胞を、インビトロで、ウイルスアクセサリ-Cタンパク質をコードする遺伝子がノックアウトされた、生弱毒化麻疹ウイルス (MV) 株由来の遺伝的に改変された感染性麻疹ウイルス (MV-deltaC) で感染させて細胞溶解物を得るステップ；
 - 細胞溶解物と形質細胞様樹状細胞 (pDC) を接触させてワクチンのpDCを得るステップ；
 - ロードされたpDCを回収するステップ；
- を含む、悪性腫瘍または癌状態と診断された個体の悪性腫瘍または癌を治療するためのワ

クチンの形質細胞様樹状細胞（pDC）を調製するための方法。

【請求項 1 6】

pDCが、治療される個体に由来する、請求項 1 4 または 1 5 に記載の方法。

【請求項 1 7】

pDCが白血球搬出（leukapheresis）から得られる、請求項 1 4 から 1 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記悪性腫瘍または癌が、侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌である、請求項 1 4 から 1 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記悪性腫瘍または癌が、悪性中皮腫、メラノーマまたは肺腺癌である、請求項 1 4 から 1 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記生弱毒化MV株が、シュワルツ株またはモラテン株である、請求項 1 4 から 1 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 1】

請求項 1 4 から 2 0 のいずれか一項に記載の方法によって得られる、ワクチンの（vaccinal）pDC。

【請求項 2 2】

侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌状態と診断された個体に投与した場合における、そのような侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌の治療のための、請求項 1 4 から 2 0 のいずれか一項に記載の方法によって得られる、ワクチンのpDC。

【請求項 2 3】

前記侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌が、悪性中皮腫、メラノーマ、または肺腺癌である、請求項 2 2 に記載のワクチンのpDC。

【請求項 2 4】

侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌状態と診断された個体に投与した場合における、そのような侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌の治療のための、（A）活性成分として、（i）ウイルスアクセサリ-Cタンパク質をコードする遺伝子がノックアウトされた、生弱毒化MV株由来の遺伝的に改変された感染性MV株（MV-deltaC）または（ii）請求項 1 4 から 2 0 のいずれか一項に記載の方法により得られるワクチンのpDCを、（B）薬学的に許容されるビヒクルと一緒に含む、医薬組成物。

【請求項 2 5】

侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌状態と診断された個体に投与された場合における、そのような侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌の治療のための、（A）（i）生弱毒化麻疹ウイルス（MV）株由来の感染性の麻疹ウイルス（MV）、または（ii）ウイルスアクセサリ-Cタンパク質をコードする遺伝子がノックアウトされた、生弱毒化MV株由来の遺伝的に改変された感染性MV（MV-deltaC）、及び/または（iii）請求項 1 4 から 2 0 のいずれか一項に記載の方法により得られるワクチンのpDCを含み、さらに（B）（i）化学療法薬および（ii）薬学的に許容されるビヒクルを含む医薬組成物または活性成分のアセンブリ。

【請求項 2 6】

侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌状態と診断された個体に投与された場合における、侵襲性の強い悪性腫瘍または侵襲性の強い癌の治療において同時のまたは別々の投与のための、（A）（i）生弱毒化麻疹ウイルス（MV）株由来の感染性の麻疹ウイルス（MV）、または（ii）ウイルスアクセサリ-Cタンパク質をコードする遺伝子がノックアウトされた、生弱毒化MV株由来の遺伝的に改変された感染性MV（MV-deltaC）と、（B）請求項 1 4 から 2 0 のいずれか一項に記載の方法により得られるワクチンのpDCとを含む活性成分のアセンブリ。